

Zoner Photo Studio を使った デジタル写真の処理

株式会社ネットポイント

ZonerPhotoStudioを使って画像を思いのままにコントロールできます。カメラからの画像の取り込み、アーカイブの整理、編集、そして写真の共有など、これまでにないほど簡単に行えます！

ハイライト

- ・最適化され、高速操作ができるようになったRAWモジュール
- ・カタログ: 写真の管理とアーカイブ機能の向上
- ・多重露出機能は、不可能を可能にします。
- ・透過に対応
- ・修復ブラシと選択ブラシツール
- ・Facebook、Flickr、Picassaウェブアルバムへの直接アップロード
- ・64ビットに対応したプログラム
- ・写真愛好家のための多岐にわたる編集ツールや効果
- ・HDR、パノラマ、3D写真を作成
- ・時間の節約になる、便利なバッチ処理
- ・GPS地図データに対応
- ・簡単かつ直接的なWeb公開
- ・カレンダーやコンタクトリストなどに使うためのテンプレートも多数用意

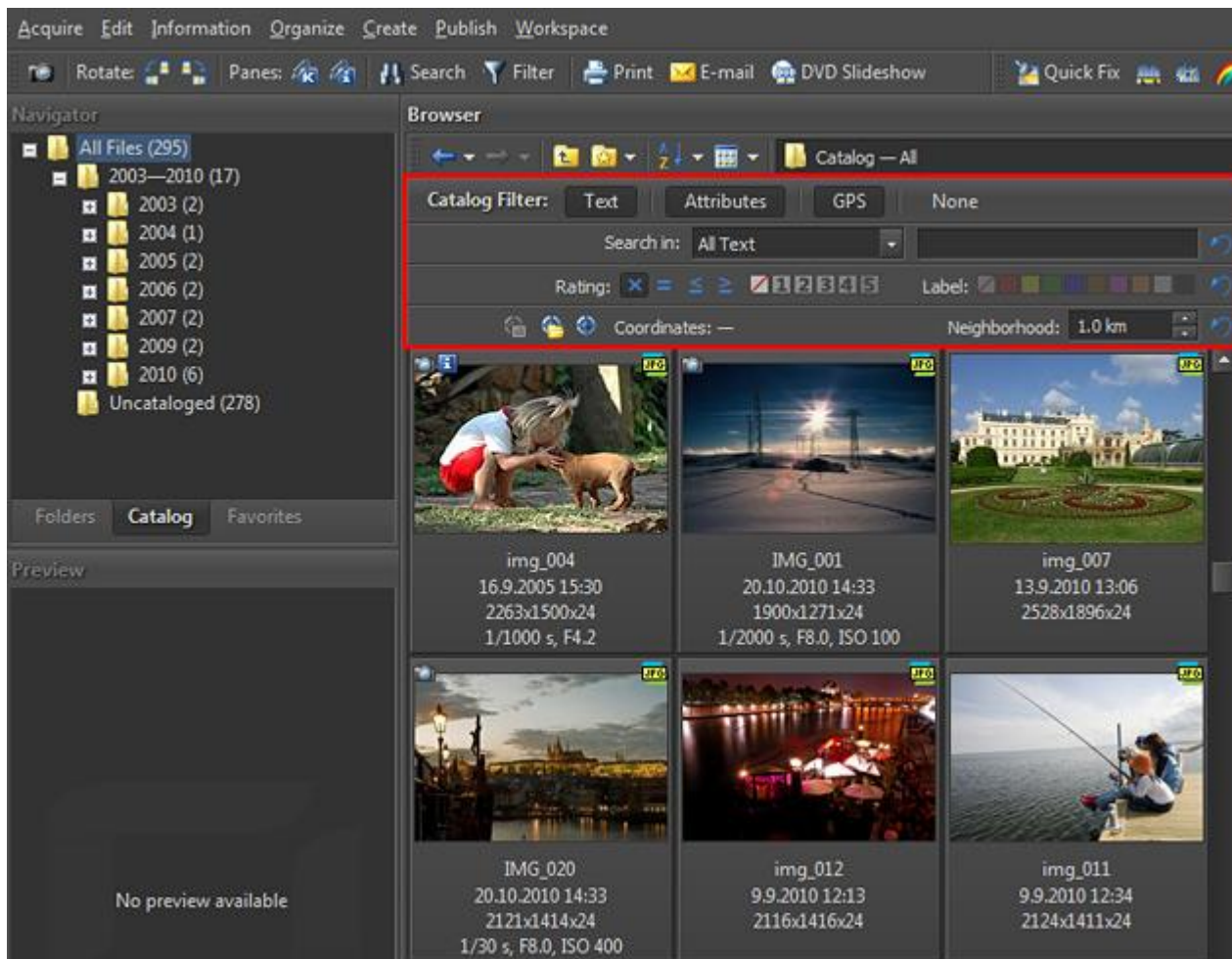


Zoner Photo Studio13 でより高速かつ簡単な作業

プログラムの新しいバージョン全てと同様、Zoner Photo Studio 13 は多くの新機能が追加され、旧バージョンの改良が加えられています。新しいZoner Photo Studio 13 を共に概観して見ましょう。



ここでは、幾つかの新しい編集ツールについてももう少し詳しく紹介します。



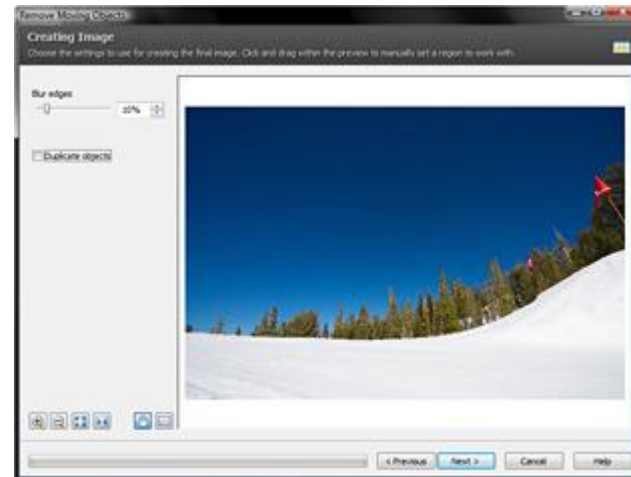
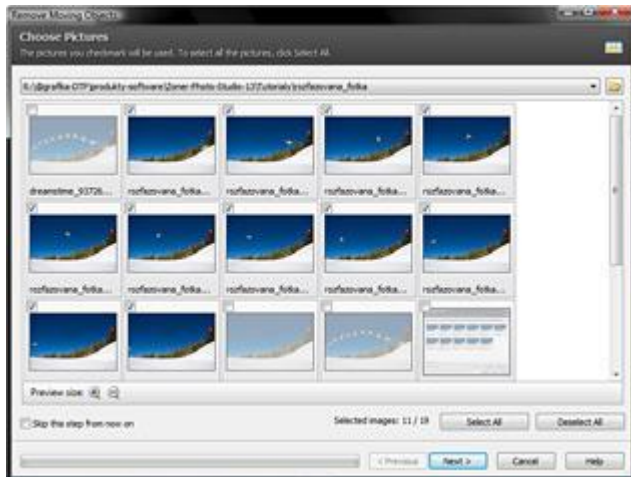
カタログ (上のスクリーンショットでは、カタログ一覧がフィルタリングされています)

ブラウザ パネルでは、新たにレーティングとラベルを追加するためのツールバーが利用できるようになりました。これまでのバージョンでは、レーティングとラベルはショートカットキーや右クリックメニューからしか追加できませんでした。ビューアには、独自のカスタマイズ可能なツールバーが追加されました。ビューアはセカンドモニターでも表示できるようになり、画像のソートやレーティングを行う場合など、作業がしやすくなりました。ビューアを複数のタブで同時に開くことができるようになりました(これまでのバージョンでは、同時に複数のタブを開けるのはエディタだけでした。

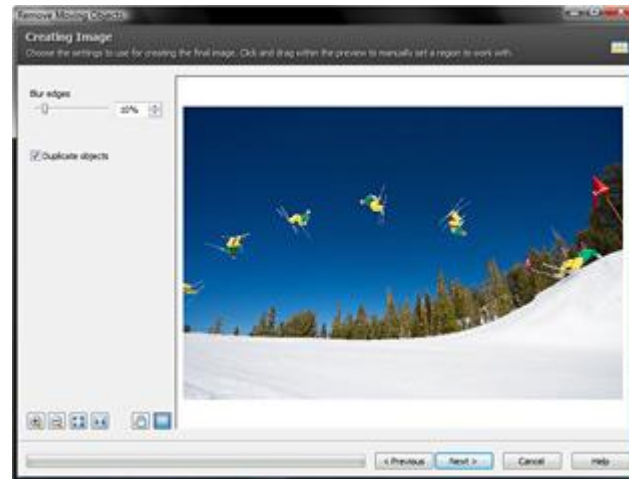
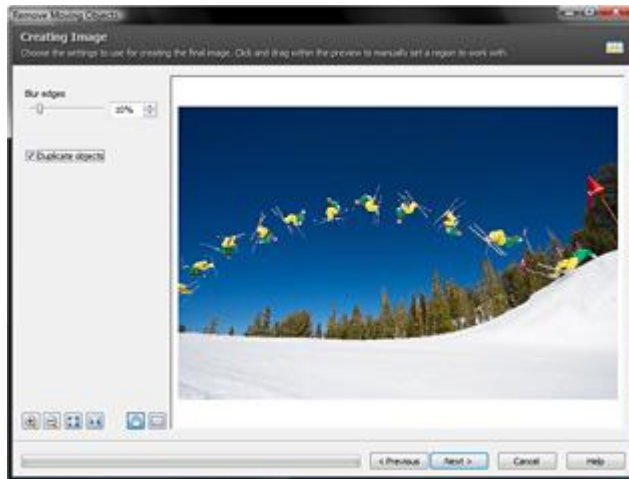
画像内から削除

マネージャ モジュールには[作成]メニューという新しいメニュー追加されました。このメニューには、これまで[公開]メニューに含まれていたものの、「公開する」というより「作成する」といった方がよい機能、3D、HDR、パノラマ、絵葉書などが含まれており、機能を見つけやすくなっています。[作成]メニューには、バージョン13から新しくつかされた機能である[多重露出の結合]機能のサブメニューが含まれています。これまでのバージョンでは、写真を結合する枚数や方法は限られていました。しかし、この新しい機能では結合できる枚数は無制限です。またこの機能を使用するためにわざわざ三脚を用いて写真を撮影する必要はありません。この機能は、作業を進める前に自動で画像を揃えることができます。

サブメニューで提供されるオプションは3つです。1つのオプションは画像を揃えるだけです。このオプションの中でも特に興味深いオプションは、[変化するオブジェクトを削除]オプションです。この機能は、すべてのソース画像に含まれていない部分をすべて削除します。これは、1枚でも車のないソース写真があれば、道から車を削除した写真を作成できます



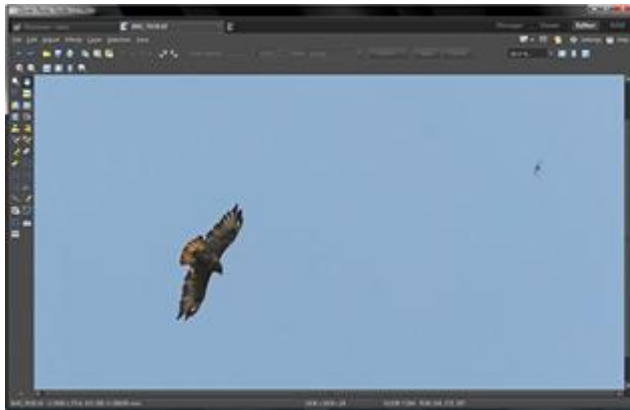
逆、つまりソース画像ないのすべてのオブジェクトを最終的に生成した画像に含めることもできます。これもまた簡単で、該当するオプションのチェックボックスをオンにするだけです。このオプションは、スキージャンプの選手の飛んだ軌跡すべてを表示する場合や画像内のオブジェクトをクロージングする場合、つまりテーブルのすべての椅子に少年が座っている画像を作成する場合などに使用します。このオプションは、表示するオブジェクトを選択することもできるので、手動でオブジェクトを追加したり削除したりできます(下のスクリーンショットを参照)。



左: [オブジェクトを残す]のみ使用。右: ユーザが指定したオブジェクトを残す

専門的な画像のレタッチ

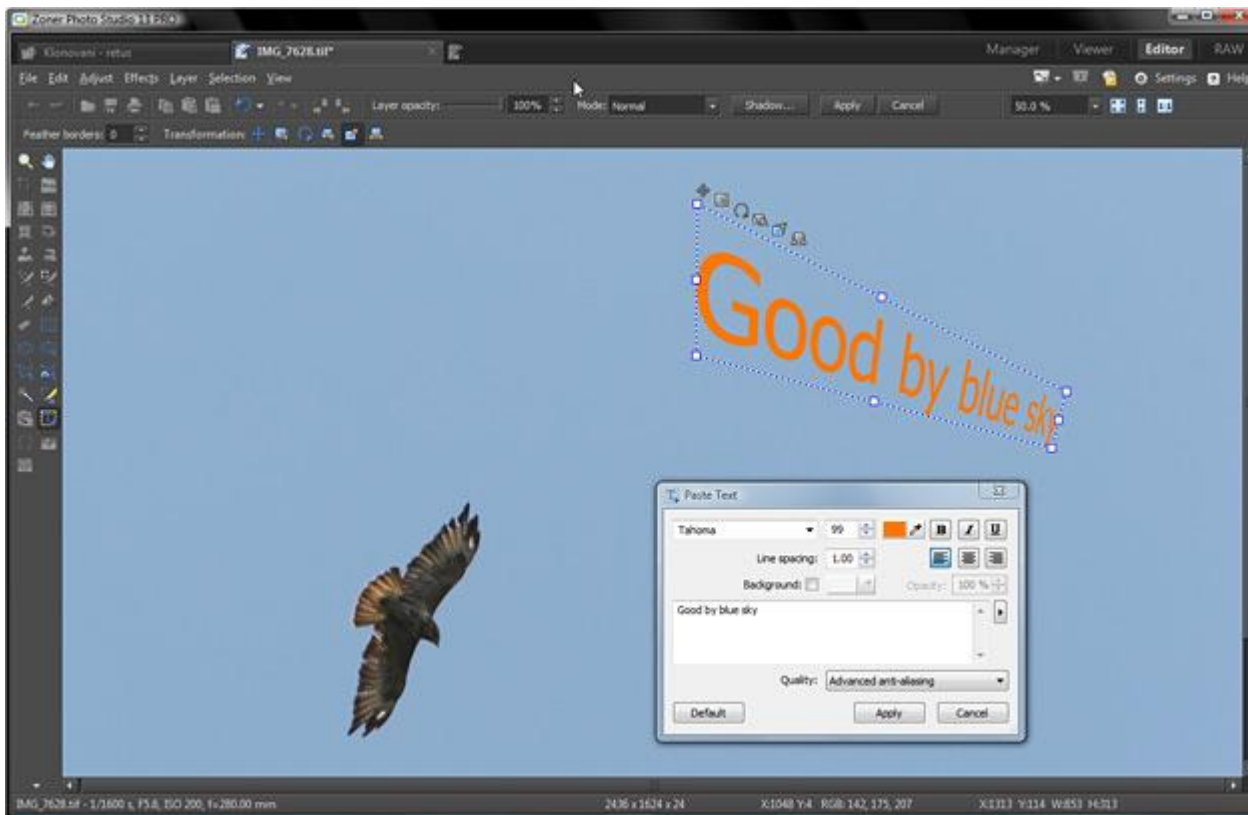
バージョン13からは、新たに修復ブラシという通常はPhotoShopのようなソフトにしかない機能が追加されました。このツールは、Zoner Photo Studioで既に利用可能なのクローンスタンプと良く似ています。では、どこが違うのでしょうか?クローンスタンプは、画像の一部をコピーして別の部分にそのまま貼り付けるため、貼り付ける過程で修復等は一切行われません。しかし、修復ブラシは、ソースとなる領域の構造だけをコピーし、ターゲットとなる領域でコピーされた要素の色を決定します。これにより、より良いレタッチを一層早く行うことができます。このツールは、画面上で顔のしわを取り除く場合や、空のレタッチを行う場合に特に有効です。



修復ブラシの実行。左: クローン スタンプを使用したレタッチ。右: 修復ブラシを使って同様の作業を実行。

変形可能なテキストオーバーレイと記号オーバーレイ

画像に記号オーバーレイを追加するためのウィンドウが利用できるようになり、Windowsのフォントで使用可能な記号はすべて対象になります。これらの記号オーバーレイは、特殊なテキストオーバーレイと見ることができ、操作などはテキストオーバーレイと同様に行います。テキストオーバーレイの操作も、視覚的にサイズ変更、回転などができ、融通が利きやすくなりました。以前は回転を角度で設定していたのと比べて、格段に操作しやすくなったといえます。記号オーバーレイは、テキストオーバーレイと良く似ていますが、記号を1つずつしか追加できないという点で異なります。記号を保存した後でなければ、新たに記号を追加することはできません。これらの記号オーバーレイは、特殊なテキストオーバーレイと見ることができ、操作などはテキストオーバーレイと同様に行います。テキストオーバーレイの操作も、視覚的にサイズ変更、回転などができ、融通が利きやすくなりました。



修復ブラシの実行。左: クローン スタンプを使用したレタッチ。右: 修復ブラシを使って同様の作業を実行。

すべて消して透過に

[Zoner Photo Studio](#) は、透過に対応している形式については透過を新たにサポートすることになりました。そのため、透過の背景を持つ画像を開いた場合、白などに変換されることなく透過の状態のまま作業を行うことができます。また、新たに透過を追加することもできます。新しい消しゴムツールを使用して、透過を画像に「描く」ことができます。この機能を使用する場合、画像を保存する時には必ず透過に対応している形式、PNGやGIFなどで保存してください。



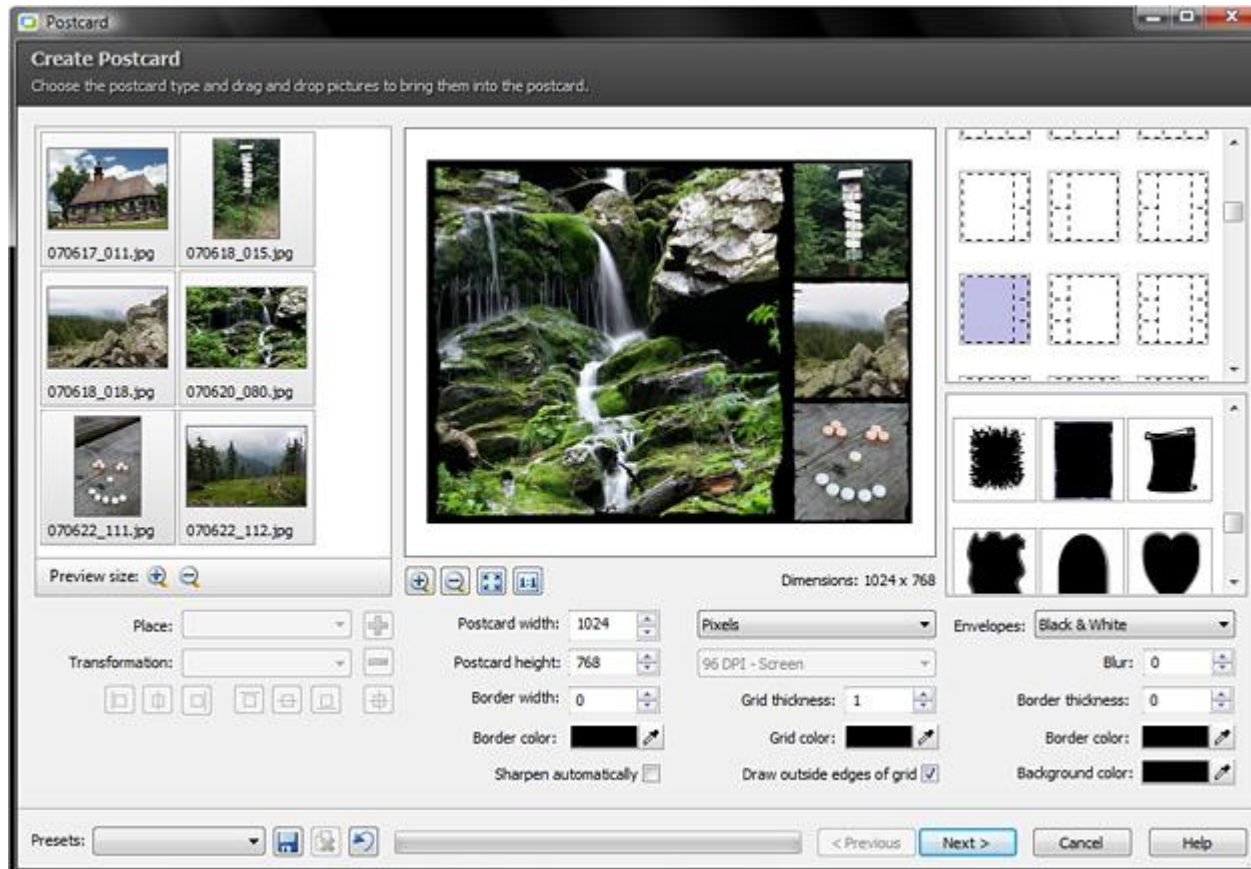
消しゴムツールを使用して背景を透過に

オリジナルの絵葉書を数分で作成

新しいバージョンには、**絵葉書作成** ウィザードが追加されました。この機能は、1枚に複数の写真を印刷する公開ツール(用紙セーバ)と良く似ています。[作成] > [絵葉書の作成...] を選択してウィザードを開くことができます。その前に、使用する画像を選択します。

選択しないままウィザードを開くと、フォルダ内のすべての画像を使用して作業することになります。もちろん、ウィザード内で不要な画像の選択を解除できますが、最初に必要な画像のみ選択したほうが作業はしやすいでしょう。

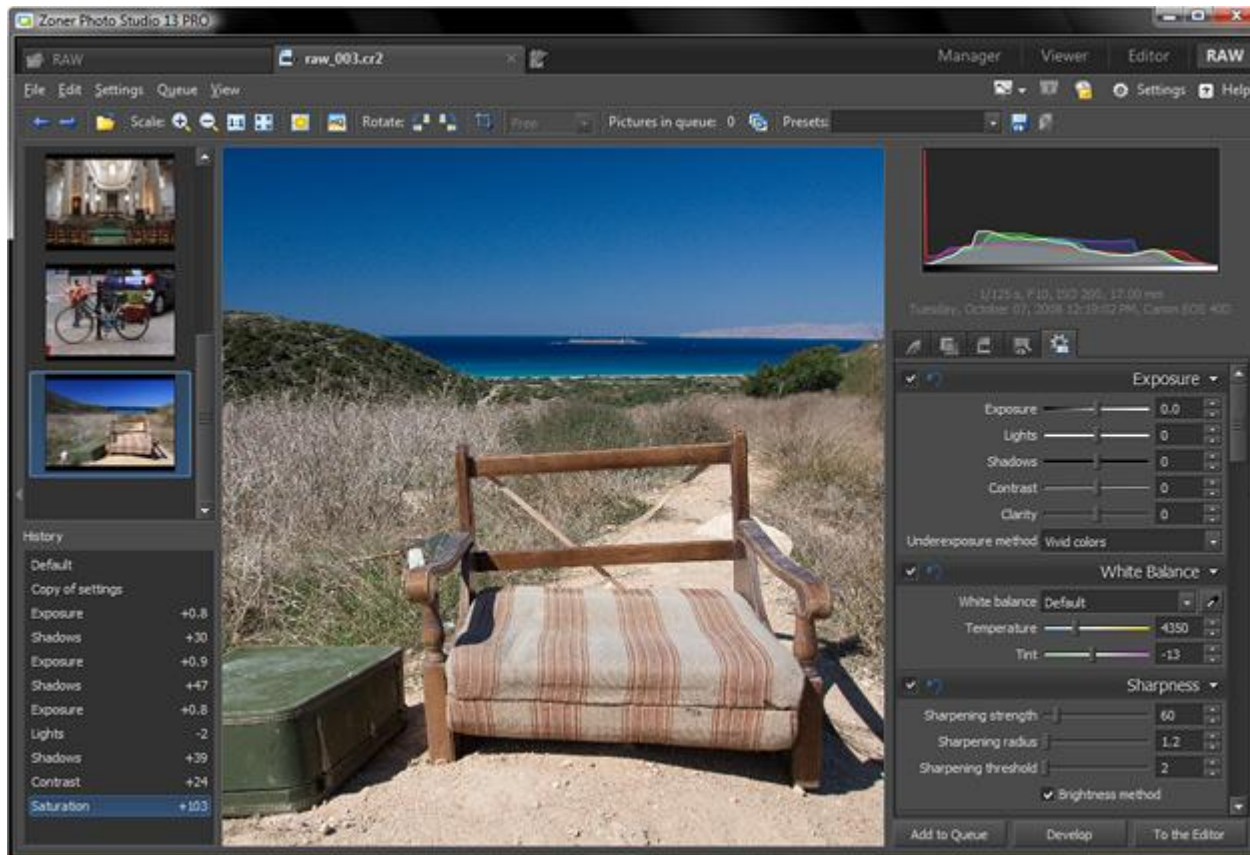
ウィザードは、左側にすべての選択画像、右側にテンプレートが表示されます。下半分の設定を使って、画像の配置の仕方、絵葉書の大きさ、各画像にエンベロップの追加、など行います。すべての設定を行ったなら、絵葉書を保存し、印刷または更なる編集のためにエディアで開くことができます。



さらに改良されたRAWモジュール

RAW形式のファイル処理を行うRAWモジュールでも幾つかの改良がなされました。まず、プレビューをより広い範囲で表示できるように、両サイドのパネル、サムネイルパネルや変換設定パネルを隠すことができるようになりました。これらのパネルの表示/非表示の切り替えを行うためのショートカットキーとしてF8キーとF9キーが用意されています。

さらに、モジュールそのものの機能性が3つの方法で改善されています。これまでエディタで利用できなかった口径食補正(アンチビネティング)が追加されました。これにより、JPEG圧縮を加えることなく口径食補正を行うことができます。2点目に、サイズ変更が可能になりました。変換中に最終処理後のサイズをソース画像のサイズとの比率で簡単に設定できます。3点目として、露出不足メソッドの選択ができるようになりました。色データが不足している領域(最も明るい領域)をどのように暗くするかの方法を選択します。選択できるメソッドは、リニア、ビットカラー、コントラストの3種類です。それぞれ特徴があり、使用に適している場面があります。



通常左側に表示されているサムネイルパネルが非表示になっています。右側のパネルには、選択可能な露出不足メソッドが見えます。

・OEM、バンドル、マルチライセンスの販売もご提案させていただきます。

お問い合わせは

株式会社ネットポイント

大阪市北区天神橋3-1-35南森町岡藤ビルディング

[Tel:06-6242-5028](tel:06-6242-5028)

E-mail:info@netp.co.jp

URL:<http://www.netp.co.jp>